



高等部後期現場実習を終えて

高等部3年2組 C. O

僕は、前期現場実習に続いて「たけの子の家」で2週間実習をしてきました。「たけの子の家」では、フルーツキャップ折り、食品加工場での作業、アルミ缶の回収などの仕事をしました。特にフルーツキャップ折りでは、一つ一つ丁寧に折ることを心掛けて作業に取り組みました。同じ作業を長い時間行うので、少し飽きてしまうこともありましたが、終わりの時間まで丁寧に作業を続けることができました。また、前期の反省を生かして、少し早く家を出るようにし、時間に余裕をもって通勤することもできました。

今回の実習では担当の方から、時間に余裕をもって行動することや時間まで集中して作業するなど、前期実習よりもできることが多くなったと褒められてとてもうれしかったです。実習での経験を生かして、自ら考えて行動することや人とのかかわり方など、少しでも成長できるように残りの学校生活を頑張っていきたいです。

高等部2年1組 K. O

僕は、保原にある「ヨークベニマル保原店」で二週間実習をしてきました。仕事内容は、品出しと陳列をやりました。品出しでは、トイレトーパーとカレーのルーと飲み物と冷凍食品の品出しをやりました。場所がわからないので、教えてもらいながら品出しをやりました。とくに、カレーのルーが一番大変でした。あと、冷凍食品も大変でした。理由は、冷凍食品を並べる時、とても冷たかったからです。陳列では、主にのりやおかしやカレーのルーの陳列をやりました。とくに、スーパーは賞味期限が一番大事なので賞味期限を見て陳列しました。

今回の実習では、家から少し近かったので自転車や車で行きました。二週間の実習を振り返ると、働くためには、体力をつけて、自分でできることは自分で行うことが大切であることを学びました。実習で学んだことを忘れずに、今後の生活に生かしていきたいと思います

高等部教諭 渡辺 裕二

後期の実習で、私は主に校内実習のタオルたたみ班を担当しました。旅館で使用されるタオルを指定されたたたみ方でたたみ、ビニール袋に詰めて10枚ずつ束ねる一連の作業に生徒たちは2週間、根気強く取り組みました。

全員が初めて経験する作業のため、一つ一つの工程を確認しながら練習する段階から始めましたが、初日の午後には全員が一人で各工程を担当できるようになっており、正直、驚きました。その後も真剣に作業に取り組む生徒の姿からは将来に向けて働く力をしっかりと身に付けようとする真摯な思いが感じられました。

実習後に巡回指導で伺った実習先での反省会にも参加しましたが、担当の方から生徒への親身になったご助言や励ましの言葉を拝聴し、生徒の進路実現に当たっては、こうした多くの方々の温かく大きな支えがあることにあらためて感謝の念を強く抱きました。

高等部教諭 佐藤 健太

2年4組では、6名が校外実習を行いました。校外実習が2回目の生徒や初めての生徒など様々な生徒がいましたが、どの生徒もそれぞれの力を存分に発揮してくれるのではないかと期待を抱いて実習を迎えました。

巡回に行った際の様子は、どの生徒も自分の持てる力を発揮し、作業に取り組んでいる様子を見ることができました。また、校内実習で活動する生徒も、班長を行うなど、班の中心として実習を行っていました。

反省会では、作業や仕事の面に関しては、担当者の方からたいへん高い評価をいただきました。しかし、同時に態度や言葉の使い方、集中力という点で課題があるというお話もいただきました。こちらにつきましては、普段の学校生活から取り組んでいきたいと考えます。

生徒達は入学当初に比べると、社会に出て働く力が少しずつついてきていると感じています。残すところ、社会に出るまで約1年。できるだけ生徒達の能力を伸ばせるよう、生徒と一緒に歩んでいきたい所存です。

中学部後期校内実習を終えて

中学部3年1組 H. I

僕は、木工班で校内実習を行いました。明成高校での販売活動に向け、花台製作を一生懸命頑張りました。自分でタイマーを設定して、ヤスリがけをしたり、サンダーという機械を使って長い木材のヤスリがけでも挑戦しました。発注書で指定された長さや本数を時間内に仕上げられるようにすることと、長さに合わせた所定の場所に間違えないで戻せるように意識して取り組みました。慣れるまでは大変な作業でしたが、きれいにヤスリがけができた時はとてもうれしかったです。花台のオイル塗装では、丁寧に塗り残しがないように、担当の先生と一緒に確認しながら進めることができました。

2週目には、高等部の「割り箸班」で半日、作業体験をしました。真剣に働く先輩方の姿を見て、とても勉強になりました。中学部での作業は、残りわずかとなりましたが、自分に任された仕事に責任を持ち、これからも一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

中学部教諭 鈴木 美香

11月6日(月)～17日(金)の2週間、木工班、家庭生活班、紙工班の3つ作業班に分かれて校内実習を行いました。中学部の作業学習では、「働く大人になるために」を意識して取り組み、「休まずに長い時間取り組む」「丁寧な言葉遣いであいさつ、返事、報告をする」「準備、活動、片付けに自分から取り組む」「集中して丁寧な作品を作る」の目標を立てて、活動しました。

木工班は、11月21日(火)明成高校での販売活動に向けて花台製作を行いました。家庭生活班は、チョコとごまクッキー作りを行い、校内の先生や中学部の生徒の皆さんへお届けし、大変喜ばれました。紙工班は、太陽祭で注文があったメモ帳や新製品のハガキ、ポチ袋を製作しました。

2週間の実習では、普段行っている作業学習の経験を生かし、それぞれの目標に向かって一生懸命努力する姿が見られ、大きな成長を感じました。普段の作業学習とはまた違う環境の中で、一人一人が働くことの厳しさや楽しさを感じ取り、自分たちで心を込めて製品を仕上げる喜びや達成感を感じることが出来る良い経験となりました。

今後は、自分の目標や課題に向かってさらに努力を続け、一人一人の成長を心から願っています。

保護者進路研修会に参加して

高等部保護者 佐藤 秀子

今回は福島市渡利にある「ベーシック憩」高野施設長の講演でした。就労系福祉事業所の現状と課題を詳しく説明していただきました。特に事業所入所後も施設外就労を通して一般雇用登録をされた方のドキュメント映像と、そこに至るまでの事業所職員の支援方法の話が印象に残っています。本人はもちろん、企業側も従業員同士の気配りが増え、雰囲気明るくなった等、お互いに良い影響を受けていることがわかりました。このような事例が少しずつでも増えていってほしいと思いました。また、働くことばかりでなく、地域で過ごす一生活者としての支援もしていきたいというお話を聞いて心強く感じました。

この研修会で学んだことを、今後の進路決定の参考にしたいと思います。

中学部3年2組 M. Y

私は、家庭生活班で、チョコチップクッキーとごまクッキーを作りました。希花さんと一緒にクッキー生地とチョコチップを混ぜました。楽しかったです。みんなで協力して、クッキーがとてたくさんできました。嬉しかったです。みんな一緒に作ってくれてありがとうございました。実習では、調理器具の片付けや、床のぞうきんがけなども頑張りました。

2週間の実習中に、一日だけ高等部の校内実習に参加しました。私は、壮君とカレンダー巻きの作業を体験しました。ドキドキしましたが頑張りました。62枚巻くことができました。たくさんできて嬉しかったです。

来年は高等部に入って、またカレンダー巻きの作業を頑張りたいと思いました。